

特殊詐欺の認知状況(令和2年10月末)

～10月は3件の被害を認知～

1 県内の特殊詐欺の認知状況 (令和2年10月末現在)

- 被害認知件数は27件 (前年同期比-1件)
- 被害額は約1億130万円 (前年同期比-約9,090万円)

2 令和2年10月中の認知状況

- 被害認知件数は3件 (前年同月比±0件)
- 被害額は約1,420万円 (前年同月比+70万円)
- 手口は

「架空料金請求詐欺(未遂)1件」「ギャンブル詐欺1件」
「交際あっせん詐欺1件」

3 10月の特殊詐欺予兆事案

本年9月下旬以降、県内の高齢者宅に警察官を装った不審電話が連続してかかってきています。その電話の内容は、

- ・あなたの個人情報が複数の会社に登録されている
- ・ある会社の名簿からあなたの個人情報が漏れている
- ・個人情報を削除するためには費用がかかる

などというもので、複数の犯人からの電話が続き、最終的には、

- ・あなたの行為は犯罪だ
- ・逮捕されないためには、お金が必要だ

と言われて高額な金銭を要求されます。

警察官がこのような電話をかけることは絶対にありません!

もしこのような電話がかかってきた場合は・・・

一度、電話を切って家族や警察に相談すること!

絶対に一人で抱え込んだり、犯人の指示通りに行動しないこと!



家族や警察への相談は恥ずかしいことはありませんので、早めに相談して被害を未然に防ぎましょう!

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和2年10月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	-	-	-
20～29	2	-	2
30～39	-	-	-
40～49	2	3	5
50～59	2	1	3
60～64	4	-	4
65～69	2	1	3
70～79	2	1	3
80～89	2	5	7
90～	-	-	-
合計	16	11	27
うち65歳以上の高齢者	6	7	13

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和2年10月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	9
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	4
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	5
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	6
キャッシュカード手交型	2
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	1
合計	27